

はじめに

災害は予期せぬタイミングで発生し、私たちの生活に大きな影響を及ぼします。特にマンションにおいては、建物そのものが損傷を免れたとしても、停電や断水、エレベーターの停止といったライフラインの途絶により、自宅での生活継続が困難になる場合があります。阪神淡路大震災や東日本大震災の経験からも、日頃からの防災対策がいかに重要であるかが明らかになりました。

東京都では、いつ発生してもおかしくない首都直下地震や激甚化・頻発化する風水害などの大規模災害に備えるため、約900万人がマンション等の共同住宅に居住するなどの東京の特性を踏まえ、マンション防災を推進しています。

防災対策を実際に進めるには、管理組合や賃貸マンションの管理者が、具体的に何をすればよいのかを知ることが重要です。この度、それぞれのマンションがその実情に応じて災害への準備を進められるよう、必要な情報をまとめた「東京都マンション防災ガイドブック」を作成しました。

災害時にも自宅での生活を継続できるマンションづくりには、マンション全体での協力と備えに加え、周辺地域との連携が欠かせません。このガイドブックが、皆さまのマンションにおける防災力強化と安全・安心な暮らしの実現に役立つことを願っています。

※ 現在、東京都では、在宅避難も含めた避難者支援全体の課題等について、避難者支援のあり方を検討しています。

この検討に併せて、本ガイドブックについても、今後改定を行って行く予定です。

目次

はじめに	 P.1
ガイドブックの見方	 P.4
第1章 在宅避難の備えを進めよう！	 P.5
1 在宅避難の意義	
2 東京とどまるマンション	
第2章 防災対策を始めよう！	 P.9
1 居住者向け基本ルールの整備	
事例：エレベーターにお知らせを掲示	
2 組織作り	
3 災害対応用スペースの確保	
事例：マンションの共用スペースの開放	
4 居住者名簿の作成	
第3章 防災活動を考えよう！	 P.19
1 地震時の対応	
コラム：建物の復旧活動	
コラム：マンション特有の被害特性 - 地震編 -	
2 風水害の対応	
コラム：マンション特有の被害特性 - 風水害編 -	

第4章 災害に備えよう! P.41

- 1 防災備蓄資器材
 コラム：災害用トイレの比較
- 2 備蓄倉庫
- 3 防災訓練
 （事例）SNS を活用した情報共有
- 4 非常用電源
- 5 エレベーター
 コラム：エレベーター閉じ込め対応訓練
- 6 給排水管
- 7 その他設備の対策
- 8 浸水対策
- 9 建物の耐震化
- 10 保険への加入
 コラム：身の回りで起こり得る地震被害を知る

第5章 地域と協力し合おう! P.71

- 1 町会・自治会との連携
 コラム：町会・マンション みんなで防災訓練
 （事例）町会・自治会との合同防災訓練
- 2 地域との協力関係づくり
 （事例）近隣の小・中学校との連携
 コラム：自治町会と民間集合住宅との水害時の一時避難に関する協定

第6章 災害時の活動マニュアルを作成しよう! P.75

- 1 震災時活動マニュアル
 コラム：賃貸マンションの防災対策
- 2 カード式防災マニュアル
- 3 風水害時活動マニュアル

様式集 P.130

- 様式1 階別安否情報シート
- 様式2 ブロック別安否情報シート
- 様式3 対策本部安否情報シート
- 様式4 救護所(待避所)受付名簿
- 様式5 出入口管理シート
- 様式6 災害連絡カード
- 様式7 連絡依頼書兼安否不明ステッカー
- 様式8 階別備蓄品配布リスト
- 様式9 備蓄品・救援物資等使用リスト

ガイドブックの見方

このガイドブックは、在宅避難の重要性から、マンション防災に取り組むために日頃からどのように備えを進めればいいのかまで、章に分けて解説しています。

在宅避難の支援策について知りたい!

第1章

在宅避難の重要性を解説
(「東京とどまるマンション」の紹介)

マンション防災に取り組みたい!

第2章

防災組織を立ち上げるために事前に行うべきことを解説
(防災組織設立までの流れなどを紹介)

第3章

災害発生後に防災組織が何をすればいいのかを解説
(班編成や連絡方法、地震発生以降の活動内容などを紹介)

第4章

災害への備えを解説
(災害時に役立つ防災備蓄資器材やエレベーター改修、
災害時のトイレ使用などを幅広く紹介)

第5章

周辺地域との連携の重要性を解説

防災マニュアルを作りたい!

第6章

防災マニュアルを作成するための手順を解説
(通常の防災マニュアルの参考様式に加え、賃貸マンション
などで活用できるカード式防災マニュアルも紹介)